八王子市明るい選挙推進協議会機関紙

しろばら　第56号

編集・発行　八王子市明るい選挙推進協議会・八王子市選挙管理委員会

選挙人名簿登録者数
（令和6年1月13日現在）
男：235,827名
女：238,162名
計：473,989名

2023年度　明るい選挙啓発ポスターコンクール

八王子市最優秀賞

都立南多摩中等教育学校　3年　弓田（ゆみた）　奈々（なな）　さん

このポスターの中央の鳥は「幸せの青い鳥」をイメージして描きました。
このポスターを見てくれた人が豊かで幸せな未来を思い描き選挙に行こうと思ってくれると嬉しいです。

東京都優秀賞

八王子実践高等学校　1年　山田（やまだ）　理子（りこ）　さん

私は選挙ポスターを書きましょうと言われた時、1人一票もとてもおおきく大切だよってことを伝えたいなと思いました。
なので、大きい東京タワーと大きい一票をかいて、わかりやすく表現しました。

八王子明推協の活動

八王子市明るい選挙推進協議会
会長　冬頭　松実

私共明推協は、この八王子市で二十六地区一七八名の推進委員で構成されています。この委員の方々は地域での選挙啓発や、選挙管理委員会の方々と共に、投票所の公正な執行に協力しています。広い地域ですので、様々なご苦労があると思いますが、まさに手弁当で活動される姿に、いつも頭が下がる思いです。この度コロナ禍においても、工夫をして行った活動が認められ、昨年２月公益財団法人明るい選挙推進協会より、明るい選挙推進優良活動表彰を受賞しました。

また表彰式の後の全国フォーラムにて活動報告をしてまいりました。これもひとえに、推進委員の皆さまの日頃のご協力の賜物と、心より感謝申し上げます。地道な活動は、すぐに数字に表れることは難しいですが、人とのふれあいの中での活動の大切さは、ネットが発達した現在においても、不動のものであると実感しております。どうぞ皆さま、日頃からご近所、お知り合いや、そのお子様など機会を捉えて、選挙の話題を一言お話いただくなど、投票することが当たり前の世の中になるよう、小さなことからコツコツと積み重ねてまいりましょう。

令和５年４月に特定非営利活動法人ミツバチラボのコラボ企画としてＫＩＣＫ ＴＨＥ ＣＡＮＣＲＥＷのＬＩＴＴＬＥさんと対談しました。詳細は→

長野県明るい選挙推進フォーラムに参加して

八王子市選挙管理委員会事務局
主事　大村　凌大

７月26日に長野県松本市のキッセイ文化ホールにて開催された長野県明るい選挙推進フォーラムに参加しました。このフォーラムでは、総務省主権者教育アドバイザーを務めていらっしゃる岩手県立大学の市島准教授より、主権者教育をテーマにご講演をいただきました。１時間半にわたる講演のなかで、特に重要だと感じた２点についてご報告します。

１点目は、平成・令和の投票率は、若年層だけではなく全世代で下降傾向にあり、その中でも30代・40代の投票率の下降傾向が大きいということです。このことからも、全国の選挙管理委員会では、特に若年層の投票率向上に向けて様々な取り組みに力をいれていますが、それでは不十分であり、全世代に対し選挙啓発を行う必要があるということでした。

２点目は、今後の出前授業の手法について、模擬公報を利用し、生徒同士でどの候補者を選んだのか・どうしてその候補者を選んだのかを話し合うこと、また、話し合いの中で、多様な意見に触れながら、候補者の選び方を考えてもらうことが大切だとのことでした。そして、話し合いの内容を、両親と共有することで、親世代への啓発にもなると指摘していらっしゃいました。

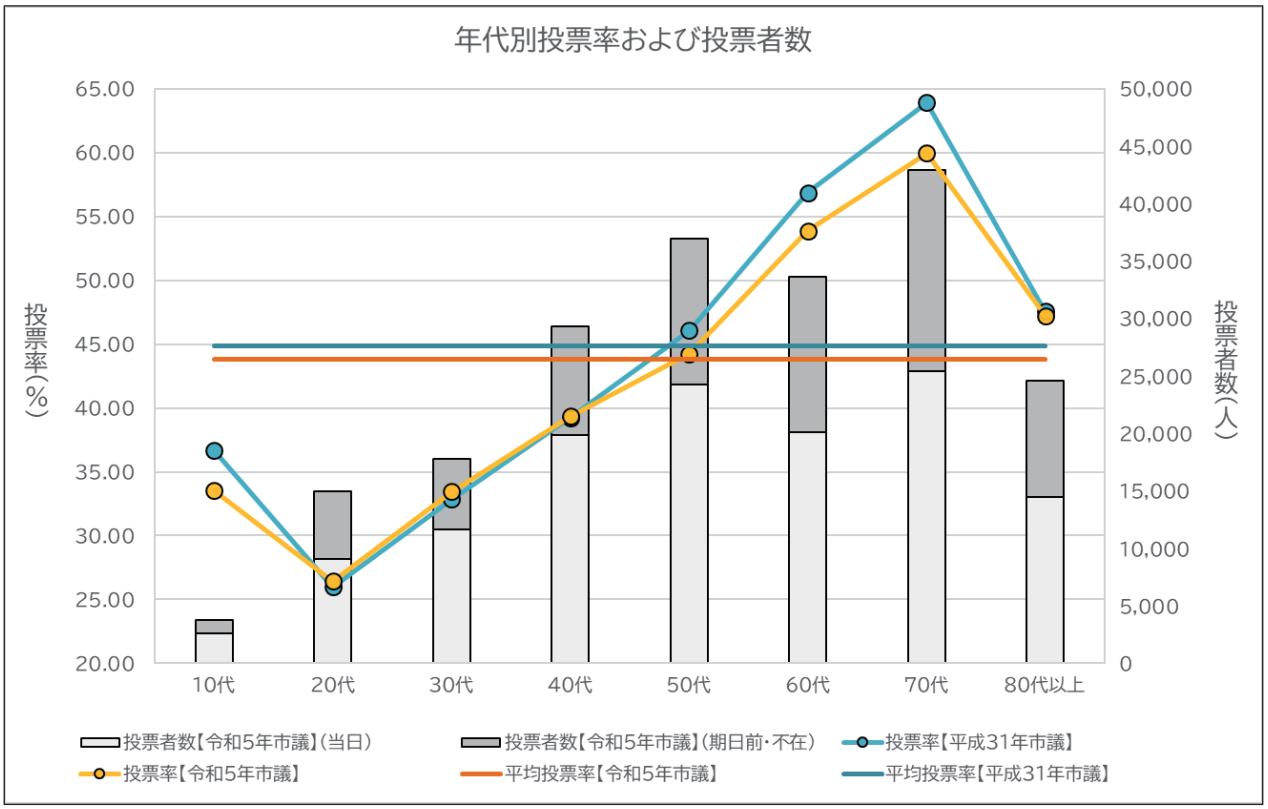
選挙管理委員会事務局の職員として、講演の内容を今後に生かしてまいります。

令和5年4月23日執行　八王子市議会議員選挙の結果

任期満了（令和５年４月30日）に伴う八王子市議会議員選挙は、統一地方選挙として、４月16日告示、４月23日投開票の日程で執行されました。

投票率については、全体で43・84％と、前回の投票率を1・05ポイント下回る結果となりましたが、年代別でみると、若年層とされる18歳、20代、30代の投票率はそれぞれ前回の投票率を上回る結果となりました。

引き続き、明るい選挙推進協議会は市選挙管理委員会や教育機関等と連携して、八王子の未来を担う子どもや若者たちの政治・選挙への主権者意識の高揚に努めてまいります。



▲年代別の投票率を折れ線グラフで、年代別の投票者数を棒グラフで表しました。さらに、各年代の投票者数において、期日前・不在者投票者と、当日投票者を色分けして示しました。

初めて投票した感想

八王子学園八王子高等学校
３年生　女子

せっかく得た権利を使わずにいるのはもったいない、そう思い投票に行きました。

私たちは、今まで持っていなかった権利を「18歳になったから」と急に与えられても、正直戸惑ってしまって、なにか難しいことを任されたような気がします。そして、権利を使っても使わなくてもいいなら、何もしないほうがいいのではないか、と考えてしまいがちだと思います。なので、投票するということは、難しいことではないという認識を若い人が持てる環境づくりが大切だと思いました。

友達とは、誕生日を迎えるときに「選挙に行けるね」と話したりします。そのときに話している感じで、軽い気持ちで投票所を訪れる人が増えたらいいと思います。

模擬選挙を実施して

八王子学園八王子高等学校
教諭　宗　聖子

八王子学園八王子高等学校では、18歳選挙権が始まる平成28年１月に主権者教育プロジェクトを立ち上げ、同年４月より高校３か年の主権者学習を開始しました。教科を跨いで構成された10名弱のプロジェクトメンバーの教員の願いは、単純に「選挙に行こう」ということではなく「自分事として国の政策を考える」というものでした。なので、高３で選挙権を得る前に、高１・高２で様々なテーマ（経済・法律／経済／財政／社会保障／安全保障・外交／資源・エネルギー／教育文化・スポーツ／農水食）に分かれて国内外の政策を調べ、その内容を新聞にまとめ、全員がクラスで発表する機会を設けています。

高３では毎年、主権者学習の集大成として、学生団体（ｉ・ｖｏｔｅ）をお招きし、模擬選挙を実施しています。学生団体は、本物さながらの選挙公報を作成してくださり、それを生徒に事前に配布し、選挙ポスターも教室や廊下に貼り、選挙のムードを作ります。模擬選挙当日は、八王子市選挙管理委員会からお借りした本物の記載台と投票箱を体育館に設置し、選挙演説を聞いた後に生徒全員が投票をするといった流れです。今年は計数機もお借りし、生徒が投票した結果もすぐに反映させ、その場で講評や感想・意見を交換しました。幼いと思っていた生徒たちが、意外と深く考えた上で投票していたことや、年齢の近い学生団体の立派な選挙演説に刺激を受けていたことを、教員としても嬉しく感じています。

今後もブラッシュアップしながら主権者学習・模擬選挙を継続していきたいと考えています。

交流会の報告

令和５年11月15日に八王子エルシィにおいて、交流会が開催され、約40名の方が参加されました。

落語道楽家の凡从亭志ん功（ぼんじゅうていしんこう）さんによる落語や美味しい食事で楽しい時間を過ごしました。

研修会の報告

令和５年11月30日に八王子市役所において、推進委員研修会が開催されました。杏林大学総合政策学部教授の木暮健太郎氏による講演を約60名の方が興味深く拝聴しました。

地域ふれあい運動会報告

第九地区　伊藤　榮治

令和５年10月１日に第十回地域ふれあい運動会に参加して、明るい選挙推進協議会、第九地区、委員の活動を知ってもらうチャンスと思い委員２名で観客席を回り私どもが作成した活動報告を配布した。地域の方々とコミュニケーションがとれて楽しかった。

開会式では朝礼台の上から活動のアピールと選挙時投票の呼び掛けをした。運動会の参加者の中に若い夫婦が子どもを抱いて走る姿には元気をもらった。

明るい選挙推進永年功労者表彰

10年表彰

第十地区　企画委員

山中　京子　様

永きにわたるご活躍ありがとうございます！

▲第九地区における地域ふれあい運動会の様子

市内の生徒会役員選挙への選挙機材の貸し出し

学生の皆さんに生徒会役員選挙等を通して、より実際に近い選挙を体験していただき、正しく明るい選挙を理解してもらうことを目的として、選挙機材の貸し出しを行っています。今年度貸し出しを行った学校は左記のとおりです。

聖パウロ学園高等学校	市立元八王子中学校	市立由木中学校
帝京大学高等学校	市立四谷中学校	市立中山中学校
八王子東特別支援学校	市立横川中学校	市立宮上中学校
八王子西特別支援学校	市立城山中学校	市立松木中学校
八王子盲学校高等部	市立川口中学校	市立鑓水中学校
市立第一中学校	市立加住中学校	
市立第五中学校	市立由井中学校	
市立第六中学校	市立打越中学校	
市立第七中学校	市立七国中学校	
市立ひよどり山中学校	市立浅川中学校	

編集後記

編集長　由井地区　山本　政光

今年度は、普段の生活に身近な市議会議員と市長を選ぶ、選挙が行われました。選挙の度に、若年層の投票率が低い事が話題になりますが、若い人は決して選挙に無関心ではないと感じています。明るい選挙啓発ポスターは、「投票が未来につながる重要な行動」と「１票の重さ」を訴えています。高校生の寄稿文には「若い人が投票しやすい環境の整備」が必要と書かれています。「選挙には関心があり、投票はしたいと思っているが、候補者の主張を見聞きしても、似たような主張が多く、判断が難しい。１票の重さを考えると、逆に安易に投票できない。」と若い方から聞いたことがあります。八王子高校では「自分事として国の政策を考える」事が重要、その為に、生徒達に国内外の政策を調べる機会を作っているとの事でした。「しろばら」が多くの方に読まれ、このような試みが広がることを期待しています。最後になりましたが、本紙の編集をして下さった編集委員皆さまとご支援、ご協力を頂いた皆さまに心より感謝申し上げます。有難う御座いました。

≪「しろばら」編集委員≫
古屋(第五地区)、伊藤(第九地区)、
山中(第十地区)、佐々木(南大沢地区)、
勝山(恩方地区)、山本(由井地区)、
冬頭(会長)、毛利(副会長)

▲しろばら編集会議の様子

2023年度　明るい選挙啓発ポスターコンクール

八王子市優秀賞

市立緑が丘小学校　4年　椎木（しいき）　瑠海（るみ）　さん

18才になったら選挙に行ける事を知り、「18才になったら選挙に行ってほしい」「選挙は大事」などの思いを込めて描きました。行ってらっしゃいと手をふっている所や選挙の紙を持って、行ってきますと言っているお姉ちゃんを描くのを工夫しました。

八王子市優秀賞

八王子実践高等学校　1年　波多野（はたの）　希咲（きさき）　さん

「たった一票の大切さ」が伝わるよう、迫力のある構図とシンプルな標語にしました。地球を投票箱に見立て、あなたの一票で世界が変わるということを表現しました。このポスターを見て、選挙に行くことの大切さに気づいてくれたらいいなと思います。

当協議会のホームページもご覧ください。「八王子　明るい選挙」で検索、あるいは下記の二次元コードを読み取ることでご覧いただけます。

たくさんのステキな作品を描いてくれてありがとう！

★八王子市における明るい選挙啓発ポスターコンクール応募結果

応募種別	応募学校数	応募作品数
小学生	5 校	13 点
中学生	12 校	57 点
高校生	3 校	219 点
合計	20 校	289 点